

## (1) 各教科の結果・分析の概要 【小学校】

### 【国語】

- 話し手が伝えようとしている内容を正しく聞く力、話し手がどのような理由で意見を述べているかを聞く力、意見と理由を区別し文章全体の組立てを考えて書く力、登場人物の心情を想像しながら読む力、漢字を正しく読む力などが身に付いている。
- 経験したことを踏まえ自分の考えを分かりやすく書く力、物語の展開に注意して叙述に即して読み取る力、分かりやすく伝えるための筆者の書き方の工夫を考えながら読む力、漢字を正しく書く力などは、今後一層高めていく必要がある。

### 【社会】

- 社会的事象の特色や用語の意味、代表的な人物の業績と文化遺産との関連などが、よく理解されている。また、目的に応じて関係のある資料を選ぶ力や、資料から正しく変化を読み取る力が身に付いている。
- 資料を比較して正しく読みとる力、事実を根拠として考え判断したことを表現する力、代表的な人物の時代の様子を資料と関連付けて考え判断する力や、比較の観点で資料から読み取った事実を適切に表現する力などは、今後一層高めていく必要がある。

### 【算数】

- 小数や分数の乗法、除法などの計算技能が身に付いており、三角形や平行四辺形の面積の求め方や立体図形の特徴についてもよく理解されている。また、多角形の角の和や立体の体積の求め方を工夫し、図や式に表現して考える力も身に付いている。
- 計算技能に比べ、問題場面から答えを求めるための式をたてていく、計算の意味理解がやや弱いと考えられる。単位量あたりの大きさなど数学的事項の意味を実際の場面と結び付けてとらえたり、目的に応じて必要な計算を選んだりする力を、今後一層高めていく必要がある。

### 【理科】

- 受粉した後のめしべの変化などの基本的な知識や理解、気温を測定するための方法や結果をグラフに表すなどの観察・実験の技能、地層のでき方や地層が広がっていることを考えるなどの科学的な思考については、おおむね身に付いている。
- 光を当てた葉にデンプンができていないかを比較して実験する方法を記述するなどの実験方法を企画する力や実験結果からだ液の働きを考えるなどの結果から考察する力は、今後一層高めていく必要がある。